

学校通信 令和5年10月24日 10月号

白子中学校

鈴鹿市立白子中学校

TEL : 386-0336 FAX : 388-0340

E-mail:shiroko-j@edu.city.suzuka.lg.jp

本年度のテーマ

～感謝～



後期生徒会役員決定！

9月20日(水)に、後期生徒会役員立候補者の演説・投票が行われ役員が決定しました。皆さんの演説を聞いて、やる気に満ちた熱意と思いが伝わってきました。

「気持ちのいいあいさつ」など素晴らしい素敵な白子中学校にして欲しいと願っています！

【生徒会執行役員の皆さんに、『抱負(がんばりたいこと)』を聞きました】



会長:中西 結咲(2-5)

私は、この白子中学校を生徒全員が楽しく通える学校にしたいと思っています。そのために、文化祭などの様々な行事を盛り上げ、練習・準備・本番を全員が全力で取り組めるように頑張りたいです。また、自分なりの新しい生徒会をつくっていくために色々なことに挑戦していきたいと思っています。半年間よろしくお願いします。

中川 万里(2-1)

私がめざす学校は、笑顔あふれる明るい学校です。ひとり一人に安心できる居場所があり、あいさつや感謝の気持ちが飛び交うような、そして毎日が充実できる学校にしたいです。そのために一生懸命がんばっていきます！半年の間、よろしくお願いします。

水谷 悠人(2-1)

白子中学校の全員が話せる学校にしていきたいです。そのために、皆さんが楽しめる企画をどんどん作っていきます。応援をよろしくお願いします。

森下 佑真(2-4)

生徒会役員となって、まじめに、全力でがんばります。みんなが学校に来るのが楽しいと思えて、思いやりのある学校にしたいです。半年間よろしくお願いします！

加藤 伊織(2-9)

私は、もっと白子中学校を楽しく過ごしやすい場所にしていけるように、みなさんの意見に耳をかたむけていきたいです。また、いじめや陰口を「0」に近づけられるように声かけをすることを特にがんばっていきます。後期の間よろしくお願いします。

加藤 愛琉(1-7)

私は、この白子中学校を明るくし、一人一人が楽しいと思える学校にしていきたいです。これから全力でがんばっていくので、よろしくお願いします！



中体連 新人大会等での活躍！！

10月7日(土)から中体連の鈴鹿地区「新人大会」が始まりました。1・2年生中心の新チームでの大会です。卓球団体戦男子・女子，バレーボール男子，ハンドボール男子・女子，ソフトテニス男子，陸上女子総合の7団体が優勝してくれました。団体戦で優勝することはたいへん難しく，ひとり一人の力と役割の結集が大切です。また，出場した選手ばかりではなくベンチから応援する仲間をはじめ「チームが一丸」となって取り組んだ成果だと感じました。残念ながら，あと一歩のところまで優勝を逃したチームもこれからが大切です。試合結果を振り返って，「弱み」を改善していきましょう！



『文化祭』に向けて！ ～♪ 合唱コンクール ♪～

10月10日(火)から，学級での合唱練習が始まり，毎日のように校舎から，「元気な歌声」・「素晴らしいハーモニー」が聞こえてきます♪

どの学級も全員が団結し，金賞をめざして一生懸命，練習に励んでいます。

合唱コンクールでは，自分たちの曲に愛情をもって，ひとり一人が持っている力を一杯発揮しているか，学級全体として協力しているか，歌詞の意味や曲に合った表現を考え合唱しているかなどが評価（審査）されます。

具体的には，技術（口の開け方，言葉の発音，リズム），響き（パートのバランス，声量，音程），表現（強弱の工夫，一体感など），マナー（入退場，姿勢，ステージ上でのマナー）を総合的に採点されます。

ひとり一人の力が結集され，学級全体の合唱となります。学級の全員が主役となり，素晴らしい発表を期待しています！これまでの練習の成果をしっかりと発揮して，思い出に残る合唱を披露してください。楽しみにしています！



【合唱コンクールの日程】

- ☆1年生・・・10/31(火) 9:20 開始
- ☆2年生・・・10/30(月) 12:40 開始
- ☆3年生・・・10/31(火) 12:40 開始

保護者の皆様の参観にあたっては，生徒1名につき2名までとさせていただきます。
ご協力をお願いします。

※ 11/1(水)は，全校生徒での文化祭（合唱コンクール）となり，保護者の参観は体育館収容人数の関係でご遠慮いただいております。（ご理解ください）

本年度のテーマ：～感謝（ありがとう）～

～ ある先生から聞いた『感謝』のエピソード ～

- ・日頃から妻には『感謝』することが多い。（言葉でも伝えるようにしている）
 - ・数年前，娘の出産に立ち会った。出産は，すごきたいへんだと改めて感じた。
 - ・出産して間もない時，妻の母が病院に駆け付けてくれた。その時，妻が母に「ありがとう」と言葉を発した。私は，その時の妻の言葉を忘れられない！
- といったエピソードを聞かせていただきました。“感動”ですね！